



一生懸命たよい



全国女性議員サミットINぐんま
ホテルメトロポリタン高崎にて(4月11日)

警察再編

望月署の存続を! 南佐久署の充実を!

■ 今回の警察組織の再編は全県下を対象とした「あり方懇話会」のものであったはずであり、当直6人以下の警察署を対象としたとの説明。それでは25署が15署位になるのかと思いきや、他はすべて特殊事情があるとのこと。開いてみたら「東信三署」。立科町の直轄一望月署とその両隣一丸子署と南佐久署のみでした。合併による行政区整合のみなら何の為に「あり方懇話会」かとの声も聞かれます。これでは県下全体の議論とはなりにくく、明日は「我が身」と考え、警察委員会での視察や活発な議論を期待します。(東信地区議員11名のうち、警察委員は「東御市に警察署を」と陳情した保科議員のみ)

■ この地域は蓼科山を含む八ヶ岳中信国定公園があり、広大な地域です。もともと佐久署は浅間山麓の御代田町と旧浅間町(岩村田)でできたもの。噴火の浅間山頂から蓼科山頂まででは無理があります。しかも山の向こうの茅野、諏訪、岡谷の3署は皆伊那寄りにあります。この三署が今回の組織再編で無くなると各3万5千人前後3署の住民(10万人余)が大変なことになります。大きな空白地帯ができます。(地図参照)

■ 山があれば山岳救助隊などがあります。年間200万人の方々を訪れる観光地(女神湖・白樺湖・蓼科牧場)でもあります。このエリアに警察署がなくなることにより多くの住民は不安を抱いています。すべて都市部一極集中ではなく、勤務は大変でも警察署(内部を改革)は小分けして地域特性を活かし、小さなコミュニティをしっかりと作り、積み上げてこそ豊かで安全な暮らしが保障できると思います。あらためて関係する地域の人々の意見を県警本部は考慮すべきだと考えます。

6月定例県議会のご報告

6月議会では575億7,900万円の近年にない大型の補正予算が可決された。この大規模補正額は景気対策費として国から各種の基金交付がされたためである。今井正子県議は今議会では地元で大きな課題となっている警察組織の再編整備計画(三署統合)について、「望月署存続」「南佐久署に臼田住民の声を反映を」を強く訴え、質問を行った。



知事に要望する立科町の代表

行政 警察組織の再編整備計画案について

- Q 今回の統合案では現在の佐久署110名、望月署35名(内北御牧2名を除く)、南佐久署52名で計195名。統合により15名減の180名となるが、警察力低下は本当に大丈夫か?
- A 今回の組織再編によって警察力が低下することはないと考える。

「**協働・防犯・友の会等地域との繋がり**は?」

A パブリックコメントは望月署177件、南佐久署16件、丸子署3件。20年県政世論調査で交番・駐在に望む(複数回答可)1位がパトロール39.8%だった。治安の不安減は平成14年から21年度まで警察官331人増員。すべての交番に相談員(OB)を配置し、県民と協働で取り組んだ成果。

県政調査によると、最近5年間の治安情勢に関する認識は悪くなったと思う人は19年度63.4%、20年度57.1%と減。
治安が悪くなったと思う理由

- 1位 県民の公共マナー、モラルの低下
- 2位 様々な情報が簡単に手に入るようになった
- ...
- 9位 警察官のパトロールが少ない
- 10位 警察の取り締まりが不十分



- Q 管轄区域と行政区分の違い、不整合によるデメリットを? 大型交番と署の違い、許認可は? 望月への即日交付の運転免許センター設置に対し、他地区から反対の声もあるが、実効性は?
- A 被害状況の関係機関の間の伝達、共有に手間がかかる。同じ市町村でありながら防犯や交通安全に関し、情報発信を別々に行う問題。サブセンターができるまで免許証の更新が可。交通規制を伴わない簡易な道路使用許可。銃砲の関係は検討。

Q 現在、県警本部より佐久署に捜査関係十数名、臼田に交通機動隊6名など20数名が執行されている。その数まで含めて180名なのか？180名とは別に残されるのか？

A こうしたところの県警本部の派遣は検討する。

Q 新上田署の移転・建設計画はあるが、佐久署は？増設は？現在の施設で増員分のキャパシティーは対応できるのか？

A 警察署の統合は既存の施設を有効に活用したい。

Q 大型交番は生活安全等の課や当直体制がなくなり、パトロール中心となるが、夜間2名体制でパトロール中は無人となり、安心安全は保てるのか？

A 分庁舎、大型交番の業務については交番勤務員や交通相談員も配置。遺失物の取り扱い、相談業務など対応。なお事故などにより、一時的に交番勤務員が不在となるが再編により当直体制や自動車警ら班を増強カバーする。

Q 「あり方懇話会」の答申を受けてというが、その8名の委員の選定はどこで？まず、警察署自体の見直し、改革はなされたのか？

A 警察本部長が選んだ（対象3署の管轄地域に住んだことのある人はゼロ）。正副署長、会計、総務、生活安全等管理部門、デスク部門を少なくして現場に人を出すことにした。

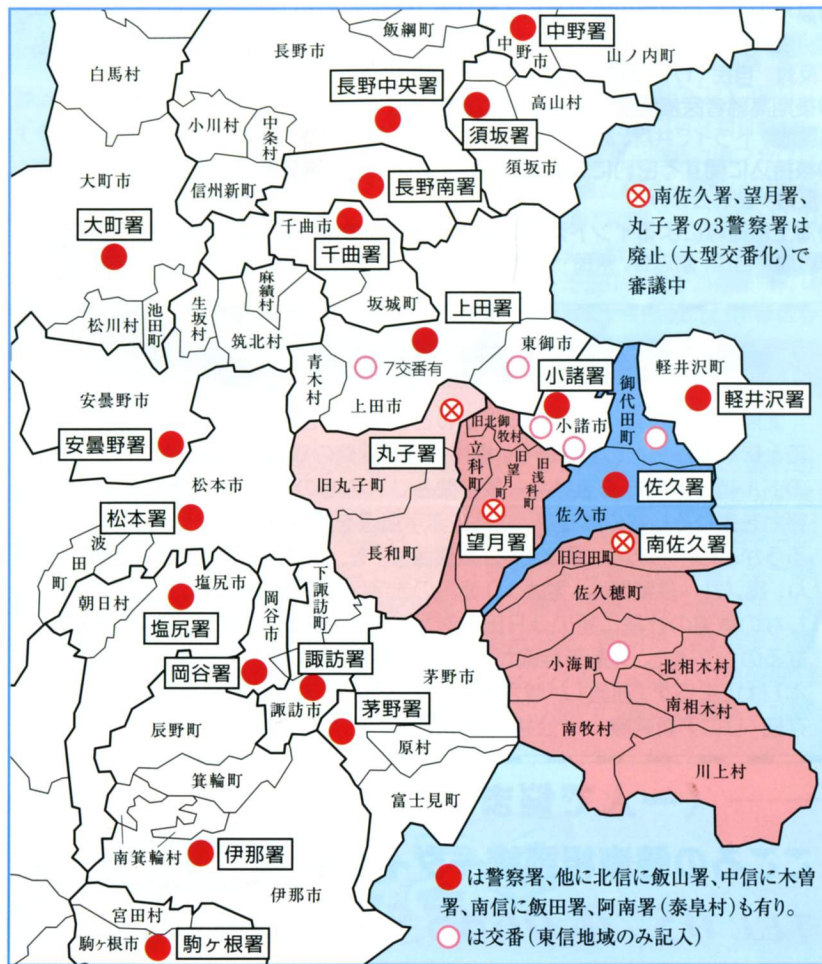
Q 答申をうけて本部内で話し合い、5月12日に統廃合警察署名を発表。6月2・4・5日と、3地区で農繁期に午後6時から説明をし、時間制限で意見は直接警察へ。6月12日にはパブコメ締め切り（郵送の場合は必着）。そして今年度3月には警察署をなくす。これでは論議の間がなし。パブリックコメント210件はどのような内容か？

「県民の希望による再編」と説明する根拠となるアンケートは、どこで誰から取ったものか？都市部住民の声か？

いずれ県下で古い佐久署は建て直しにない、広い郊外へ？中心部へ？そうならば、現在の岩村田や浅間山麓の御代田町が大変になるのでは？

岩村田の佐久署に集中、増強。望月・臼田・立科町から遠い。南佐久の小海交番（現在4名）の増強は？

副署長が総務または会計を兼ねるとか「管理職（5〜7名）は外へ出れないから」と決め付けないで柔軟にしても署のほうで安心という考えもある。



活動報告



全国6番目の女性知事、山形県の吉村美栄子氏より子ども政策を聞く



母子家庭の現状を聞き 母子加算廃止 復活を訴える



佐久での講演「糸数慶子議員（参）沖縄を語る」を依頼（沖縄全国議員研修会場）



元気に6種目をこなす皆さん（県スポーツ大会立科町にて）



「女性議員が増えれば社会はこう変わる！」（全国女性議員サミットパネラーとして）

